

始まります！

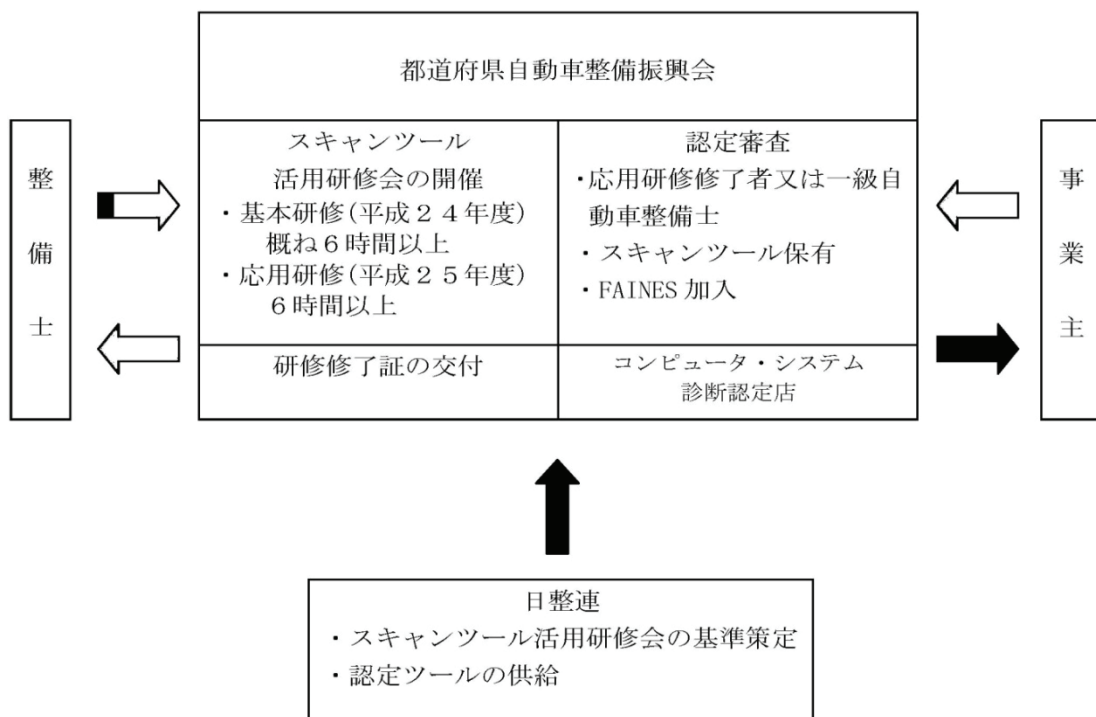


## 新しい整備事業場の認定制度

### 『コンピュータ・システム診断認定店』

自動車の性能向上に伴い、近年の車両には様々なソフトウェアが導入されるとともに、1台あたりに搭載されますコンピュータは100個以上、ソフトウェアの量は1,000万行とされています。また最近ではスマートフォンが急速に普及してきていることにより、カーナビやテレマックス端末といった車載機器とインターネットを、スマートフォンを介して連携したサービスが検討・実用化され、クルマの進化・また進化のスピードはとどまるどころを知りません。

これらの状況下、国交省が設置した『汎用スキャンツール普及検討会』では、スキャンツールを活用出来る人材の育成と同時に、実際にスキャンツールを活用し高度な診断を実施している整備工場がユーザーに対してわかりやすいことが必要であるという結論が出されました。以上の情勢を踏まえ、日本自動車整備振興会連合会におきましてはスキャンツール活用事業場を認定する制度『コンピュータ・システム診断認定店』の認定制度を平成25年度からスタートします。



## 『コンピュータ・システム診断認定店』 認定要件

(各県) 自動車整備振興会の会員で、下記の3つの要件を充足している事業場となります。

- (1) スキャンツール応用研修修了者又は一級自動車整備士が1人以上勤務していること。
- (2) スキャンツールを保有していること。ただし、J-OBD II 対応、DTC 読み取り・消去、作業サポート、データモニタ、フリーズフレームデータ、アクティブテストの機能がついている機種であること。
- (3) **FAINES に加入していること。**

### スキャンツール用語解説

	内 容	備 考(例)
作業サポート	整備作業上の補助や、車両のコンピュータが読み込んでいる学習データの初期化、リセット機能。	点火時期をタイミングライトで点検するときに専用のモードへ切り換える。
アクティブテスト	車両のコンピュータへ強制的に命令を出し、アクチュエータを駆動または停止させる機能。	インジェクターの燃料噴射を任意のシリンダーのみ停止させる。
データモニタ	センサーから車両のコンピュータへ入ってくる情報とコンピュータにより駆動されている部品(=アクチュエータ)についての状態、状況を表示する機能。	—————
フリーズフレームデータ (FFD)	車両のコンピュータが故障コードを検出した又は異常を検出した瞬間にコンピュータが記憶した情報の中で、その時の運転状況を中心としたデータを表示する機能。	—————

故障発生時の運転状態の把握や、現象がその後出ない場合の再現テスト時に役立つ！



項目	値
フリーズコード	P1212
燃料システム バンク1	モト4
燃料システム バンク2	モト4
水温	82 °C
長期燃料トリム バンク1	92 %
長期燃料トリム バンク2	90 %
短期燃料トリム バンク1	102 %
短期燃料トリム バンク2	101 %
エンジン回転数	850 rpm
車速	0 km/h
バルブ幅	2.8 ms

F1

F2

F3

F4

2006/01/19  
15:16:44

フリーズフレームデータ表示例